

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金効果検証【令和5年度実施計画分】

実施計画			事業実績						担当課
No	事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費(千円)	交付金充当経費 (千円)	取組実績	効果検証	
10	LPガス利用者負担 軽減	①コロナ禍における物価高騰によりエネルギー価格高騰の影響を受けている群馬 県内のLPガス利用者の負担軽減を図ることを目的にLPガス料金の値引きに必要 な支援金の支給を実施する。 ②LPガス料金値引きのための原資支援(882,166千円)、値引き実施のための経費 支援(9,800千円)、委託費(8,589千円) ③県内LPガス利用世帯580,000世帯、LPガス販売事業者490者、1世帯あたり 1,500円(1回限り)、1事業者に対する経費支援20,000円 第1回不足:27,165,991円 ④群馬県内の全てのLPガス利用世帯 (58万世帯:事前調査で申請をしない事業者があったため、今回想定される最大申 請世帯は57万世帯)	R5.12	R6.5	717,220	717,220	451,203件に対してLPガス料金の値引き を実施した。	群馬県内のLPガス利用者に対して、LPガ ス事業者を通じてLPガス料金の値引きを 実施し、LPガス利用者の負担軽減を図る ことができた。	消防保安課
11	医療・介護・福祉施 設への物価高騰支 援事業	①診療報酬など公定価格で運営されており、コロナ禍における物価高騰の影響を 価格転嫁できない医療・介護・福祉施設に対して、物価高騰対策の取組を支援する とともに、引き続き今後の業務改善に向けたDXの活用を促す。 ②給付金と事務関係費 ③給付金 1,301,911千円 (1)医科・歯科・薬局・施術所等 559,369千円 病院・有床診療所 363,438千円 無床診療所(医科・歯科) 127,027千円 調剤薬局・助産所・施術所 68,904千円 (2)介護・障害・救護施設 707,773千円 入所系施設 453,541千円 訪問系施設 102,186千円 通所系施設 152,046千円 事務関係費 34,769千円 ④医療機関、介護施設、障害者(児)施設、薬局、救護施設	R6.1	R6.10	1,114,420	1,114,420	物価高騰対策に取り組む医療・介護・福 祉施設に対して支援金を支給 件数:7,193件	物価高騰対策支援金の支給により、公定 価格で措置されない光熱費等の急激な高 騰の影響を軽減し、事業者の安定した経 営に寄与した。	健康福祉課 医務課 地域福祉課 介護高齢課 障害政策課

実施計画			事業実績						
No	事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費(千円)	交付金充当経費 (千円)	取組実績	効果検証	担当課
12	群馬県特別高圧電力価格高騰対策支援金	①特別高圧電力を使用する企業の負担軽減。 ②電気料金支援金、事務局委託費 ③特別高圧価格高騰対策支援金 1,260,732千円 (1)大企業分(大型商業施設管理運営者含む) 115口×1,445,000kWh/月×0.9円/kWh×7ヶ月＝1,046,903千円 115口×1,445,000kWh/月×0.5円/kWh×1ヶ月＝ 83,087千円 上限(1億円)超過企業分 ▲64,333千円 (2)中小企業分 10口×1,445,000kWh/月×1.8円/kWh×7ヶ月＝ 182,070千円 10口×1,445,000kWh/月×0.9円/kWh×1ヶ月＝ 13,005千円 委託費 7,000千円 ④特別高圧電力を使用する企業	R6.1	R7.1	641,943	641,943	国の電気料引下げの対象となっていない特別高圧電力を受電する企業に対して支援を行った。 令和5年10月～令和6年5月分交付対象34件 (うち大企業13件、中小企業21件)	燃料費の高騰等に伴う電気料の高騰に打撃を受けた企業の負担軽減を図ることができた。	未来投資・デジタル産業課
13	県産ブランドニジマス養殖用配合飼料価格高騰対策支援	養殖用配合飼料の急激な価格高騰の影響を受ける県内養殖業者に対し、配合飼料購入費の一部を支援し、今後の価格高騰下での影響を緩和させるとともに冷凍保存技術を用いて、県産ブランドニジマスを安定的に供給できる体制の構築を図る。 ②補助金 ③11,000千円(飼料代補助:18,706円/t×40t×12か月=9,000千円、冷凍試験補助:(分析・検査)1,976千円+(事務費)24千円=2,000千円) ④9,000千円:県産ブランドニジマスを生産し、セーフティーネットに加入している養殖業者のうち低魚粉飼料(低価格の配合飼料)を飼料全体の30%以上使用する者。2,000千円:群馬県養鯉漁業協同組合	R6.1	R6.3	7,712	7,712	配合飼料購入費の一部助成 実績額(円) 第1四半期(4月～6月):1,545,148.7 第2四半期(7月～9月):1,242,175.5 第3四半期(10月～12月):1,548,417.7 第4四半期(1月～3月):1,397,992.6 冷凍試験補助 実績額(円) 肉質分析・感応評価:1,963,511 旅費:14,310	・養殖用配合飼料価格の急激な価格高騰が発生し、養殖業者の経営を圧迫している状況であったが、影響を緩和することができた。 ・ギンヒカリの冷凍試験を実施し、冷凍保存に関して、有効性を確認することができた。	蚕糸特産課
14	子牛生産経営緊急支援	①飼料価格高騰、子牛価格下落に対する経営支援 ②補助金(肉用子牛を生産する際の粉ミルク、粗飼料の高騰分の1/2相当額を補助) ③(ア)6ヶ月齢未満出荷子牛 3,600円/頭×18,000頭＝64,800千円 (イ)6ヵ月～12ヵ月齢出荷子牛 7,900円/頭×4,000頭＝31,600千円 (ウ)事務費 660千円 ④R5年度に県内家畜市場に肉用子牛を出荷した生産者	R6.4	R6.9	66,992	66,992	肉用子牛生産費の一部助成 実績額 ・全国農業協同組合連合会群馬県本部 補助金:20,662,500円 ・群馬県家畜商商業協同組合 補助金:46,329,200円	・肉用子牛価格の下落や飼料など資材費の高騰により肉用子牛の生産費が上昇し、生産農家は厳しい経営状態であったが、生産基盤の維持を図ることができた。	米麦畜産課

※担当課は効果検証作成時の担当課を記入